



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

Member of



UNESCO
Associated
Schools



UNESCO
Associated Schools

第3回
ユネスコスクール
関東ブロック大会
開催報告書

令和5年1月30日

第3回ユネスコスクール関東ブロック大会実行委員会

目次

1. はじめに

- ・大会の概要及びプログラム

2. 分科会報告

- ・2-1: 第一分科会(東海大学・かながわユネスコスクールネットワーク)
- ・2-2: 第二分科会(玉川大学・大妻中野中学高等学校)
- ・2-3: 第三分科会(成蹊大学)
- ・2-4: 第四分科会(創価大学)

3. ポスターセッション

- ・発表者学校名及びポスタータイトル一覧

4. 資料

- ・議事録
- ・チラシ送り状
- ・ワールドカフェ指示書
- ・会計報告

はじめに

創価大学は2018年7月にASPUnivNetに加盟し、地域のユネスコスクール支援に取り組んでいる。その一環として本学が主催校となり今夏、第3回ユネスコスクール関東ブロック大会を開催した。本報告書は、その概要をまとめた関係者の資料である。

なお、関東ブロック大会とはASPUnivNet加盟の4大学(玉川大学、東海大学、成蹊大学、創価大学)が担当する関東エリア(1都6県)のユネスコスクール並びに関係諸団体の交流と潜在的なユネスコスクール関係者への啓発・支援を目的に、2020年から4大学持ち回りで開催しているイベントである。

大会の概要

第3回ユネスコスクール関東ブロック大会は、2022年7月31日(日)東京都八王子市の創価大学にて、以下のプログラムの下、140名を超える参加者を得て開催された。



大会プログラム

※大会HP <https://suarc.sakura.ne.jp/arc/susp03/suspsoka/>

9時 30分	受付開始	第一部
10時 00分	開会あいさつ ・鈴木将史 創価大学学長	
10時 15分	基調講演(ビデオメッセージ) ・青柳茂 ユネスコ・バンコク事務所長 ※ https://sokauniversity.app.box.com/s/ael8p7jen8qawhde8y85br9skosdr14e	
10時 45分	実践校報告 ・杉並区立西田小学校 鈴木朝代 校長 / 佐々木哲弥 研究主任	
11時 30分 ~13時	ポスターセッション	昼食休憩
13時 00分	分科会 ・東海大学 / かながわユネスコスクールネットワーク ・玉川大学 / 大妻中野中学高等学校 ・成蹊大学 ・創価大学	第二部
15時 30分	閉会あいさつ ・関田一彦 大会実行委員長 / 創価大学教育学部長	
15時 40分	閉会	

2. 分科会

2-1 第一分科会(東海大学・かながわユネスコスクールネットワーク)

テーマ：包括的セクシュアリティ教育とユネスコスクール

子どもたちに性とジェンダーについての知識を伝え、性の健康と幸せのためのスキルを身につけさせることは、よりよい未来を作るために欠かせない課題です。ユネスコは精力的に「包括的セクシュアリティ教育(CSE)」を推進しています。世界の貧困や格差、差別の背景には、間違いなく性と生殖の健康問題やジェンダーの不平等があるからです。

本分科会では、ユネスコスクール各校の CSE への取り組みについて紹介しあい、これからの課題について意見交換をおこないました。まず湘南学園高等部の活動を集めた報道番組を視聴し、参加者同士でのグループ討議を行いました。次に、幸ヶ谷小学校から小学校における教員の性教育に対する意識と研修事例報告がありました。続いてシュタイナー学園で理科(化学・生物)の内容として扱っている性教育について、生徒さんたちの作品を回覧しながらの報告がありました。ここで湘南学園の生徒さんたちが遅れて到着したので、彼らからオーバザレインボープロジェクトに関する発表があり、最後に Zoom も活用して東海大学と茨城県にあるブラジル学校の交流についての報告がありました。



2-2 第二分科会(玉川大学・大妻中野中学校・高等学校)

テーマ：高大連携WS「SDGs/地球市民性育成に向けて」 大妻中野中・高とのコラボ

第二分科会では問題解決能力を持った地球市民性の育成をめざす高大連携ワークショップを実施しました。玉川大学ユネスコクラブの学生と大妻中野中学校・高等学校の生徒とが SDGs に深く関わる3テーマ(①地球環境問題、②国際対立問題、③社会格差問題)を選び、高大連携の3チームに分かれて、それぞれ担当のテーマに取り組みました。VUCA 時代における解のないグローバルな諸課題についてディスカッションを行い、異なった視点を取り入れながら創造的かつ現実的な解決策を共同探究しました。

1) 地球環境問題を扱う「環境チーム」では、持続可能な環境社会の実現に向けた議論を行いました。その中では、海洋マイクロプラスチックの収集システムや生物によるプラスチック分解技術の紹介などが挙げられる中、より身近な環境への働きかけとして商品のパッケージなど簡略かつシンプル化を通したリデザイン(エモイパッケージ)によるプラスチックの削減提案がなされました。具体的には、身近な菓子・飲料のパッケージをシンプルかつスマートなデザインにすることで無理なく若者がスタイリッシュに生活の中で自然に環境支援できるようになることを目指す手法の可能性と課題について議論を深めました。

2) 国際対立問題を扱う「国際チーム」では、ロシアのウクライナ侵攻という時事問題に焦点を当て、大学生・高校生のメンバーにはこの国際紛争に関わるロシア人、ウクライナ人、中国人、アメリカ人、ヨーロッパ人それぞれの立場になってもらい、ロールプレイを行いました。なぜこの戦争が起こっているのか、紛争を解決して平和を実現するにはどうしたらいいのかについて国や民族によって異なる「正義」や「価値」をふまえたメタ次元での解決方法の導出を試みました。対立点をきちんと認識し分析することの重要性とあわせて、地球という単一の生態系において戦争が起こることによって生じるさまざまな負の影響について、「共通利害」の観点から対話を深めることの重要性が共同意見として提言されました。

3) 社会格差問題を扱う「ジェンダーチーム」では、男女格差と LGBTQ の2つのグループに分かれ、各グルー

プで中学生・高校生・大学生が協力してテーマについて調べ、議論を重ねながら準備を進めました。当日は、来場者の方にも一緒にテーマについて考えたり、ディスカッションに加わったりしてもらえるよう、ディスカッションのベースとなる基本的な知識や現状について知ってもらうクイズを行う等の工夫をしました。そして、いくつかのディスカッション・クエスチョンを提示しながら、議論を深めていきました。話し合いを進めていく中で、両グループのテーマに関する共通点として、人々の性別に対する「こうあるべき」というステレオタイプが障壁を生んでいる要因の一つである、ということが浮かび上がりました。そうした固定概念に疑問をもち、まずは周りの人たちと話し合ったり、自分たちの考えを発信し行動に移したりしていくことが重要という意見や、継続してこの問題を考えていくことが大切だといった意見が出る等、熱い議論が交わされました。

どのチームからもぜひ継続して議論を深めていきたいという声が多く寄せられました。



2-3 第三分科会(成蹊大学)

テーマ：学生の声で「難民」について伝えること ～成蹊高大連携の活動事例から～



成蹊学園では2019年から国連UNHCR協会WILL2LIVEパートナーとして難民について知る映画の上映会を行っています。この上映会の企画・運営を行っているのが、成蹊高校生と大学生が有志で集まったWILL2LIVE Cinema Seikeiです。

分科会では、学生から先生方まであらゆる方々に、「難民」について成蹊学園での取り組みを紹介しました。

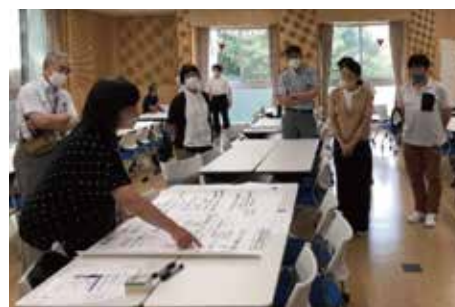
2-4 第四分科会(創価大学)

テーマ：平和と公正をすべての人に

～パートナーシップで難民理解の第一歩を踏み出そう～

本分科会では、まずは学生団体(ASPIRE SOKA)が2017年から毎年開催しているWILL2LIVEムーブメントである「難民映画祭」開催の工夫(専門家:UNHCR協会やUNHCR駐日事務所や難民支援に関わっている団体:難民と共に未来を創造するNPO団体(WELgee)代表者を招待し講演会を開く、学生同士のディスカッション)、難民により作成された製品の販売などの行動実践を紹介しました。そこから2グループに分かれ、小・中・高校で展開できる難民理解、そして、平和・公正な社会の構築のために第一歩を踏み出すことができる授業外の活動を検討しました。

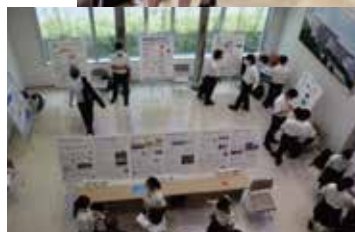
取り組みのトピック、活動内容を設定したうえで、ステークホルダー、学内・外で協力してくれる/ほしい人・グループ・組織を考えました。さらに、考えられる課題と対策を予測し、取り組みの持続性を視野に入れた活動を考えるグループワークをしました。



3. ポスターセッション

ポスターセッションは、SDGs の広がりや国際的な観点から議論するもの、地域の視点での活動、学校間の連携やプロジェクト等、現在・過去の活動事例もしくは 今後の活動計画等も含めて広く発表することを趣旨にして行いました。

本会場での基調講演・分科会後の休憩・昼食時間に並行しての開催となりましたが、郁文館高校並びに大妻中野中学校・高等学校のポスター前では各校の生徒がそれぞれに熱意溢れるプレゼンテーションを行っていました。なお、成蹊学園サステナビリティ教育研究センターからは現在・将来に向けて取り組む ESD 活動が紹介されていました。



No.	発表者学校名	ポスタータイトル
①	創価大学国際 教養学部	あなたの考えている男らしさ、女らしさ、それって思い込みかも？ 日々の言葉に気をつけてみよう
②	郁文館高校	島嶼部の急患移送と地域創成に於ける水上飛行機利用の検討と模索
③	郁文館高校	「エネルギー問題」の解決から考える「地方再生」
④	郁文館高校	沖縄の英語力の向上
⑤	郁文館高校	IR・カジノを導入後治安を安全に保つには
⑥	郁文館高校	屋久島の携帯トイレ問題
⑦	郁文館高校	米軍基地と海の生き物の共存～沖縄のサンゴ礁を赤土から守る～
⑧	郁文館高校	アイヌ文化を親しみやすくするためには？
⑨	郁文館高校	屋久島の水質とゴミ
⑩	郁文館高校	ずっと陸前高田で幸福を実感できるようにしよう！
⑪	大妻中野中学校・ 高等学校	日本流 VS フランス流 「住みやすい街づくり」とは？
⑫	郁文館高校	地方創生×インフルエンサーマーケティング
⑬～⑮	大妻中野中学校・ 高等学校	大妻中野Frontier Project Team ～学年横断型チーム探究活動
⑯	成蹊学園 サステナビリティ 教育研究センター	成蹊学園サステナビリティ教育研究センターのESD活動

4. 資料

4-1 議事録

関東ブロック大会準備 第1回打合せ議事録

日時 2021年12月22日 17:00～18:15 Zoomミーティング

**参加者
(敬称略)** 小貫（東海大学）、小林（玉川大学）、藤本（ACCU）、望月（神奈川県ユネスコスクール連絡協議会）、
鈴木、宮崎、三津村、山内、吉川、吉村、関田（創価大学）

〈議題〉

1. 各校・団体による第2回 関東ブロック大会の振り返り

- ・コロナ禍にあって、初めてのオンライン開催となったが各大学・団体の特長を生かした大会にすることができた。
- ・参加者同士の交流という点では、時間的制約が大きかったと感じる。
- ・見やすい Web ページができ、好印象であった。
- ・生徒・学生の参加の積極的な参加を引き出すことはできたが、世界に繋がる手応えがもう少しほしかった。
- ・参加した生徒たちには良い経験となった。
- ・分科会と全体会の繋がりが弱かった（参加者としてギャップを感じた）。

2. 第3回 大会に向けての意見交換

- ・創価大学がホストとなり、2022年7月31日（日）を第一候補日として開催する。
- ・最寄り駅からバス利用となるが、オープンキャンパスと日程を重ねることでピストンバスの利用が可能になる。
- ・大会の基調テーマを「人権・平和と世界市民教育」（案）とする方向で、基調講演者の検討をはじめめる。
- ・次回の会合に向け、講演者候補を探す。
- ・次回は1月中下旬の夕方とする。
- ・ホスト校には、参加者の交流の機会確保をお願いしたい。

関東ブロック大会準備 第2回打合せ議事録

日時 2022年1月25日 17:00～18:20 Zoomミーティング

参加者 (敬称略) 小貫 (東海大学)、小林 (玉川大学)、藤本 (ACCU)、望月 (神奈川県ユネスコスクール連絡協議会)、鈴木、宮崎、山内、吉川、吉村、関田 (創価大学)

〈議題〉

1. 大会大綱について

前回の意見交換を踏まえ、7月31日(日)創価大学教育学部棟およびS棟にて、「平和・人権と世界市民(シティズンシップ)教育」をテーマに開催することが正式に了承された。なお、同日は創価大学でオープンキャンパスが行われており、最寄り駅との往復にオープンキャンパス用のピストンバスを活用できることが確認された。

2. プログラムについて

提示されたたたき台をもとに協議した結果、以下のプログラム暫定案が作成された。

10:00	開会式(全体オリエンテーション)
10:20～12:00	基調講演+質疑
12:00～13:00	昼休み
13:00～14:30	分科会90分
14:40～15:30	ワールドカフェ (参加者交流会)
15:30	閉会式

3. 基調講演者(候補)について

ブレインストーミングで講演候補を挙げて検討した結果、7/30の「国際友情デー」にちなみつつ、ハッピースクールをテーマにした講演を検討することになった。具体的には青柳茂 UNESCO バンコク事務所長にコンタクトし、青柳所長もしくはハッピースクール担当者からビデオメッセージをもらい、それを受けて国内のハッピースクール実践校の話の聴く形を目指すことになった。

4. 分科会テーマ

分科会では基調講演を踏まえつつ、大会テーマを掘り下げる内容を検討することになった。

- ・(玉川大) 地球市民として私たちができるSDGs w/ 大妻中野高校
- ・(神奈川) 次回の楽しみ
- ・(東海大) ジェンダー・人権・セクシャリティをテーマに
- ・(創価大) 学生参画で(たとえばASPIRE)
- ・(ACCU) ユネスコスクール事務局からのアピール・関東Blockとして
- ・(成蹊大) 次回の楽しみ

5. 次回に向けて

次回は3月1日(火)17時からZoomで打合せを行うことになった。その際、各校・協議会は分科会の内容について概要を報告することになった。また、創価大学側からは基調講演について交渉結果の報告がなされることになった。

6. その他(メモ)

- ・関東ブロック大会の意義を踏まえ、ユネスコスクール同士の実践交流促進を目的としたポスター発表をWeb上で行う。
- ・ポスターは事前に大会Webに掲載し、大会当日は昼休みを利用して、関心のある者同士が意見交換できる場を設ける。
- ・オープンキャンパスの受付を済ませることで、昼食券が入手可能であり、大学の学食を体験することができる。
- ・大会にかかる費用については次回までに概算し、予算案を検討する。

関東ブロック大会準備 第3回打合せ議事録

日時 2022年3月1日 17:00～18:45 Zoomミーティング

参加者 (敬称略) 小貫 (東海大学)、小林 (玉川大学)、藤本 (ACCU)、望月 (神奈川県ユネスコスクール連絡協議会)、藤原 (成蹊大学)、小田 (成蹊大学)、鈴木、宮崎、山内、吉川、吉村、関田 (創価大学)

〈 議題 〉

1. 全体の流れの確認

資料をもとに全体のイメージのすり合わせを行い、下の表の形で進める共通理解を得た。

表1 当日プログラム (暫定版) の進捗状況

イベント	時間	場所	進捗状況
受付	9:30	S 棟	大教室棟入口に受付を設置し、資料とともに昼食券 (無料) を配布
開会式	10:00	S201	学長挨拶を調整中
基調講演	10:15	S201	青柳所長に打診中 → 3月中に判明
ポスター 実践交流	12:00 ～13:00	B103	昼休みの間、実践報告のポスターを貼り出し、 対面で情報交流する
分科会	13:00		教育学部棟 (B棟) 3, 4階の教室を予定 ※ACCUは相談ブース (B405)
ワールドカフェ	14:40		分科会教室を利用 手順については別紙参照
閉会式	15:30	S201	開催校 (実行委員長) 挨拶 + 次期大会予定校あいさつ
帰路			池田講堂前発の八王子駅直通バスの利用 (有料)

2. 分科会について

分科会について各大学のアイデアを共有し、以下4つの分科会を開催することになった。なお、ACCU はユネスコスクールよろず相談ブースを設けることになった。

第一分科会 (東海大学・神奈川県ユネスコスクール連絡協議会合同)
実践事例 (性教育) の取り組み紹介と全体討議

第二分科会 (玉川大学)
高大連携WS「SDGs / 地球市民性育成に向けて」 大妻中野中・高とのコラボ
国際的な (正義の) 対立に関する葛藤解決試行 ゲストあり

第三分科会 (成蹊大学)
次回までに内容の検討を行う

第四分科会 (創価大学)
ASPIRE-SOKA (学生団体) とのコラボ 具体的な内容は次回までに決める

3. 休憩所について

昼休みに懇談できる場所の有無について質問があり、ポスター会場に休憩所をつくることになった。

4. ポスター発表について

当初 Web での発表を想定していたが、協議の末、Web ポスターではなく、当日、模造紙による掲示とすることになった。また、事前に発表概要については大会 HP で案内することになった。

5. ワールドカフェについて

ワールドカフェについては、新たな出会いやまとまった話し合いの機会とし、以下の手順で行うことになった。なお、従来行ってきた各分科会の報告を全体共有することはしない。

1. 分科会終了時に、会場内で4～5名のグループになって座るように指示する。
2. グループごとに分科会で学んだこと、感じたことなどを共有し、意見交換する。
3. セッション終了後、移動先教室を指示(カードに教室とテーブル番号を記載)する。
教室担当者の合図で移動・休憩に入る(10分)。
4. 移動先教室に入室し、指示されたテーブルに着席し、新しいメンバー(4～5名)と自分が参加した分科会の内容について交流(20分)する。
※第一ラウンドは分科会内、第二ラウンドは分科会間での交流とする。
5. 教室担当者が終了の合図を出し、閉会式場への移動を指示する。

6. 大会HPについて

成蹊大学が作成したHPを参考に、創価大学が学内予算を使用して作成することになった。

7. 次回は4月15日(金)17時からZoomで行うことになった。

関東ブロック大会準備 第4回打合せ 議事録

日時 2022年4月15日 17:00~18:20 Zoomミーティング

参加者 (敬称略)

小貫(東海大学)、小林(玉川大学)、山田(玉川大学)、尾関(玉川大学)、水沢(大妻中野中・高等学校)、大西(大妻中野中・高等学校)、藤原(成蹊大学)、小田(成蹊大学)、宮下(成蹊大学)、宮崎、山内、吉川、吉村、関田(創価大学)

〈進捗報告〉

(1) 基調講演の件

- ・ユネスコ・バンコク事務所の青柳所長より、ビデオメッセージを頂くことになった。
- ・関連して、杉並区立西田小学校にハッピースクールの取り組みについて実践報告を依頼することになった。

(2) 分科会の件

- ・創価大学の分科会はテーマ:「難民」と呼ばれる人を理解する」で行うことになった。関連して、成蹊大学とのコラボを検討することになった。
- ・玉川大学と大妻中野中・高等学校のコラボでは、7~8名のグループを3つ作り、その活動の様子を参加者に見てもらうための教室レイアウトを考えることになった。

(3) HPの件

- ・トップページには共催および後援を明示することになった。
- ・分科会のテーマと概要がみられるようにリンクを張ることになった。

(4) ポスター発表の件

- ・模造紙もしくはA0サイズに対応するパネルを用意することになった。
- ・映像を見せるかどうか、検討することになった。

その他

(1) 後援申請の件

- ・ユネスコ協会、UnivNet、八王子市教育委員会に後援申請することになった。

(2) 補助金の件

- ・ACCUからの助成金など、外部資金獲得について検討することになった。

(3) 次回日程

- ・5月13日(金)17時からZoomで打ち合わせを行うことになった。

関東ブロック大会準備 第5回打合せ議事録

日時 2022年5月13日 17:00~18:30 Zoomミーティング

参加者 (敬称略)

小貫(東海大学)、小林(玉川大学)、山田(玉川大学)、尾関(玉川大学)、水沢(大妻中野中・高等学校)、藤原(成蹊大学)、藤本(ACCU)、島田、宮崎、山内、吉川、吉村、関田(創価大学)

〈進捗報告〉

(1) 基調講演の件

・ユネスコ・バンコク事務所の青柳所長より、ビデオメッセージ(30分)を頂くことが決まったこと(HPに動画をアップする期間について青柳所長に確認する)、そして関連して、ハッピースクールの取り組みについて杉並区立西田小学校から実践報告の内諾を得たことが報告された。

(2) 分科会の件

・創価大学と成蹊大学の分科会テーマが類似なことについて協議し、テーマは同じでも狙いや内容が異なることから、互いに重複に配慮しつつそれぞれ独自に分科会を開催することになった。

・分科会のタイトルと内容についてHP記載用に200字程度で概要を作成することになった。

(3) HPの件

・暫定版を検討し、修正点を整理した。これを受けて更新したものを来週中に共有し、公開前の最終確認することになった。併せて、チラシの修正版も共有し、最終点検することになった。なお、チラシ・ポスターは玉川大100/5枚、成蹊大100/5枚、東海大・かながわユネスコスクールネットワーク50/5枚を用意することになった。

(4) ポスター発表の件

・申し込みサイトとは別にポスターの募集要項を作り、HPに掲載することになった。なお、発表申し込みの締め切りは6月末とすることになった。

その他

(1) 補助金の件

・ACCUからの助成金については、来週の文科省との会議の結果を受けて、各大学が個別申請するか、大会主催校が一括申請するかを決めることになった。

(2) 次回は7月1日(金) 17時から以下のURLからZoomで行うことになった。

ZoomのURL

<https://us02web.zoom.us/j/83419010037?pwd=Uk10RHhTQmEzbWJiVDRCMVdzZHpYdz09>

関東ブロック大会準備 第6回打合せ議事録

日時 2022年7月1日 17:00~18:20 Zoomにて

参加者 (敬称略)

小貫(東海大学)、望月(かながわ)、小林(玉川大学)、山田(玉川大学)、尾関(玉川大学)、水沢(大妻中野中・高等学校)、藤原(成蹊大学)、藤本(ACCU)、島田、宮崎、山内、吉川、吉村、関田(創価大学)

実行委員長(関田)より準備状況の報告があり、その中でポスターセッション会場の変更について説明があり、BA棟1階ロビーに変更することを一同了承した。関連して以下の質疑が行われた。

- ・大妻中野の生徒さんたちは2グループに分かれてポスター発表を行う。そのうちの1グループでは、さらにA1サイズのポスターが5枚あるが、すべて掲示可能か?
→可能であるが、セッション参加数が確定しないと掲示方法は決まらない。
- ・今からポスターセッション参加は可能か、すでに声掛けしているところはないか?
→若干の新規受付は可能である。成蹊大学用に1枠、ユネスコ協会用に1枠は確保する。
- ・ACCUのブースはポスターセッションと同時開催だが、セッション会場でのポスター掲示や資料配布は可能か?
→可能だが、すでに分科会会場に隣接する部屋(B405教室)を用意しており、そこでの掲示や配布を想定している。また、ユネスコ協会が同様にスペースを必要とした場合、隣のB406教室も利用可能である。

続いて分科会について以下の質疑が行われた。

- ・第二分科会の会場ではWiFiは使用可能か?
→分科会会場に限らず、大学からeduroamのゲストアカウントを発行してもらう。
- ・プロジェクターを使いたいが可能か?
→各教室の常設システムが利用できる。映したいコンテンツはUSBで卓に設置されたPCに接続できる。

その他として

1. 大学行きのバス乗り場について確認された。
2. 昼食券の配布について確認された。
3. 荷物の事前受付は29日午前までとすることが確認された。
4. 報告書は各セッションについて簡単にまとめることになった。その際、分科会は共通フォーマットを使用し分科会ごとにまとめる。

分科会報告(記録)フォーム

分科会大学・団体名	責任者
参加者数	(その内の企画関係者数)
分科会内容	
特記事項	

令和4年7月15日

市教育委員会御中

創価大学教育学部
学部長 関田 一彦
創価大学教職大学院
研究科長 吉川 成司

第3回ユネスコスクール関東ブロック大会 「平和・人権と地球市民教育(GCED)」開催のお知らせ

時下ますますご清祥の事とお慶び申し上げます。日頃より、本学の教育活動に多大なるご理解とご支援を賜り、改めまして厚く御礼申し上げます。

この度、本学主催、玉川大学・東海大学・成蹊大学・かながわユネスコスクールネットワーク共催による第3回ユネスコスクール関東ブロック大会を以下のようなテーマで開催する運びとなりましたので、ご報告申し上げます。貴委員会の先生方や生徒・学生の皆様等にご参加を賜れば幸甚に存じます。

創価大学ユネスコスクール支援委員会は地域の教育機関と連携・協力しESD/SDGsの推進に取り組んでおります。特に多摩地域において、ユネスコスクール登録を目指す学校への支援には力を入れておりますので、今後ともご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

第3回ユネスコスクール関東ブロック大会 「平和・人権と地球市民教育(GCED)」

- 【日時】 令和4年 7月31日(日) 10時00分～15時45分
- 【場所】 創価大学 大教室棟(S棟)及び教育学部棟(B棟)
- 【式次第】 午前の部 (S201教室)
- | | |
|-------------|---|
| 10:00—10:15 | 挨拶 鈴木 将史 学長 |
| 10:15—10:45 | 基調講演(ビデオメッセージ)
ユネスコ・バンコク事務所所長 青柳 茂 氏 |
| 10:45—11:30 | ユネスコスクール(ハッピースクール)実践校報告
杉並区立西田小学校 |
| 11:30—13:00 | 昼食休憩
ポスターセッション(S棟1階ニュープリンスホール食堂) |
| | 午後の部 (B棟) |
| 13:00—15:20 | 分科会 |
| 15:30—15:40 | 閉会の挨拶 関田 一彦 創価大学副学長・教育学部長 |
- 【備考】 参加費無料

4-3 ワールドカフェ指示書

分科会におけるワールドカフェの動きの説明

★各分科会責任者は以下の指示をお願いします。

1. 分科会開始冒頭、番号札を配りながら全体の動きを説明する。

- ① 分科会の学びの交流は相手を替えて2回行う。
- ② 1回目はこの会場内で指示に従ってグループを作り行う。
- ③ 2回目は配られた札の番号の会場に移動し、その会場で出会う人たちと行う。



番号札例

- 1は 4階 401 教室（東海大学+かながわネットワーク）
- 2は 4階 404 教室（成蹊大学）
- 3は 3階 304 教室（玉川大学+大妻中野中学・高校）
- 4は 3階 301 教室（創価大学）

2. 移動先の会場では以下の説明を行う。

- ① 可能な限り、4つの分科会参加者が揃うように4人組をつくる。その際、番号札を机の上に出し、互いにどの分科会から来たのか分かるようにする。
- ② 4つの分科会参加者が揃わない場合でも、元の会場ですでに交流した人とは組まない。
- ③ うまく組めない人は手を挙げて知らせる。

3. 交流会開始時に以下の指示をする。

- ① 交流は 15 時 20 分をめどに行うが、時間が来たらこちらで合図する。
- ② 参加者は 1 人あたり 2 ～ 3 分で自分が参加した分科会の内容は学んだことをメンバーに説明する。メンバーは必要に応じて質問し、互いの理解を深める。
- ③ 進行役を決めて開始する。（たとえば、今日一番遠くから参加した人、など）進行役は全員が発言できるように時間配分に気を付ける。

4-4 会計報告

(1) 費目別経費

(単位：円)

費目	種別	金額	積算内容
人件費	賃金	52,555 円	学生アルバイト7名(学部生3名時給1090円×6.5時間、学部生1名時給1090円×8.5時間、教職大学院生3名時給1130円×6.5時間)
	諸謝金	22,274 円	杉並区立西田小学校謝礼(2名分)
事業費	旅費	62,221 円	〈実践校報告登壇者〉 登壇者2名 〈玉川大学、大妻中野中学校・高等学校〉 登壇者23名 〈東海大学〉 登壇者19名 ※創価大学登壇者6名、成蹊大学登壇者6名の交通費は大学予算から支出
	借損料	0 円	
	消耗品費	53,980 円	模造紙等文房具類 一式 イーゼル 10台
	会議費	88,900 円	学生アルバイト、登壇者用弁当代(1000円×83名) 登壇者用ペットボトル飲料(100円×59名)
	通信運搬費	42,550 円	担当地域各市町村へのプログラム発送費 370円(レターパック)×115通
	雑役務費	245,300 円	大会HP作成委託料(更新費) チラシ印刷費6,600円 最終報告書デザイン・印刷製本費(117,700円)
	消費税相当額	6,902 円	軽減税率差額分 82,315円×0.02=1,646円 (会議費の2%) 人件費×10%(5,256円)
一般管理費	一般管理費	0 円	
再委託費	再委託費	0 円	
	合計	574,682 円	